

地区名	明世地区	番号	1
タイトル	太陽光発電の有効活用による安心・安全で豊かな未来の創造		
ご意見の内容			
<p><太陽光発電の有効活用の意義> 現在、日本において、そして各地域において電力不足が懸念されている中、太陽光発電の利用は有効かつ安全な手段とされている。その活用は多岐にわたる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電力不足への対応 2. 独居高齢者による電力使用の安全化（ガス、石油使用等による火災防止） 3. 自動車社会である世界が電気自動車へ移行しつつある 4. 災害時の停電への対応がスムーズになる 等々 この活用を市が主体となり、事業者、電力会社と協力し、その運用を全て事業者任せにするのではなく、市として何割かの電力を請け負うことができる体制をつくるのが、市の安全・安心で豊かな未来を築くと考えられる。 <p><太陽光発電事業の課題>・・・月吉地区に置き換えて考えます 現在、月吉地区において、6カ所の太陽光発電が計画及び進行している。この計画事業の主体は他県の業者になる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この対応は素人である区長を主体とした月吉住民であることは大きな問題。計画に対する「地元の同意（区長等）」が必要であるが、水利の問題、増加する水の対応等、専門知識を必要とするため、区長を含む地元住民だけでは判断できない。 2. この太陽光発電がどこの電力に活かされているのかが不明瞭または知らされていない 3. 太陽光事業は専門性が高く、土木関係も関わってくるため、素人では計画に対しての判断が難しい 4. 昨年でも大雨により工事現場から土砂が住宅や畑に流れ込み、大変であった 5. この事業の基本的な部分の認可は市である。ところが最終的な計画進行判断は区長である <p><太陽光発電事業の課題解決> 全ては計画に対する地域対応が問題であり、瑞浪市全体の電力有効活用を考えて、専門知識、見識がある職員を有する市が対応すべきであると考えます。 このことこそが「瑞浪市の安心・安全で豊かな未来への創造」に繋がるものと信じている。</p>			
市長の回答	担当課	環境課 都市計画課	
<p>太陽光発電有効活用の意義には同感である。ロシア、ウクライナのこともありエネルギー問題が深刻な状況になってきているため、国でもエネルギーミックスということで水力、原子力も稼働させて供給を回していこうとしている。そのクリーンエネルギーの中で一番可能性が高いのが太陽光発電であると思う。エネルギー事業に関わっている行政も増えてきており、恵那市でも自治体新電力事業を行っている。先進事例を見ながら検討を進めていきたいと思う。</p> <p>太陽光発電の設置におけるトラブルがでてきていることも事実である。市では太陽光発電事業に対し条例に基づく市との協議を定めているが、発電事業に対する認可は国が行っており、市は認可する権限を持っていない。市として指導したり、地域の皆さんに説明をすることはできるが、太陽光発電の設置に関する権限は持っていません。業者からの開発申請については県でチェックを行い、クリアしなければ開発工事を行うことはできない。</p> <p>市として地域の皆さんに説明をすることはできるが、国や県の法律、条令が優先されてしまう。国の考え方が変わらなければ、理想的な太陽光発電の事業にはなっていないように思う。しっかりと県と連携をとっていきたいと思う。</p>			

地区名	明世地区	番号	2
タイトル	瑞浪市に住みたくなる様な方策について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市への移住希望者を増やす為、瑞浪市に住みたくなる様な方策はどのようなものがあるか？併せて、目標とする人口数はあるか？</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課 企画政策課	
<p>住みたくなるようなまちにするためには、ハード事業とソフト事業をしっかりと整備・完備していかななくてはならない。まちとしての魅力や利便性、安全・安心なまちとして整備することが選んでいただけるまちになると思う。ハード面においては、先程紹介した第7次瑞浪市総合計画にかかる主要事業をしっかりと取り組んでいきたい。</p> <p>ソフト面では、子育て世帯における保育環境や小・中学校の教育環境、高校・大学の有無が、定住の判断のポイントになるかと思う。瑞浪は交通アクセスも良く区画整理により宅地もでき、全国的に人口減といわれる中でも明世地区においては人口減が少ないように思う。文科省の特区として幼保一体化の幼児教育も全国に先駆けて取り組んでおり、子育て世帯は家庭の事情により保育と教育を選択できるメリットがある。県立と私立の特色ある高校を選択することもでき、大学もあり、瑞浪は教育環境に恵まれている。「学園都市瑞浪市」「子育てするなら瑞浪市」の想いを移住定住パンフレットの作成や「移住定住ポータルサイト」を開設し、発信している。空き家や空き地についても、空き家・空き地バンク事業において市内の不動産業者と連携し、情報を提供できるよう進めている。</p> <p>瑞浪市の想定人口については、瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略にて目標人口を2060年（令和42年）に34,000人程度と定めているが、国立社会保障・人口問題研究所の2060年の人口推計は20,599人となっている。1人でも多く住んでいただけるようなまちにしていかなければならない。</p>			

地区名	明世地区	番号	3
タイトル	瑞浪市への企業誘致策について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市への企業誘致施策について具体的に教えてください。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>前市長の時から工業団地の整備が進み、工業用地を確保し、企業誘致が完了している。</p> <p>平成年30度には株式会社エィ・ダブリュ瑞浪（現株式会社アイシン瑞浪）が、昨年度はクリエイション・パーク工業団地内の最後の1区画に新たな企業の進出が決まり、今年度中の操業に向けての工場建設に入る状況である。旧陶小学校跡地、釜戸中学校跡地についても企業進出が決定している。</p> <p>今後は広い用地もなく、新たな工業団地の確保は厳しいと感じている。市内で操業している各企業がレベルアップし、第2操業、第3操業できるような環境を整備し、産業の振興と雇用の拡大を図ることが現実的な施策であると考えている。</p>			

地区名	明世地区	番号	4
タイトル	瑞浪市消防団の欠員について		
ご意見の内容			
<p>市消防団、第1分団(第1～4まで11班)では欠員の現状が多く見られるが対策についてはどのようにお考えか？</p>			
市長の回答	担当課	消防本部警防課	
<p>消防団の団本部が中心となり、今年の9月を目安に定員見直しの協議を進めており、来年4月より新しい定員で消防団を編成していく予定である。</p>			

地区名	明世地区	番号	5
タイトル	みんなが安心して憩える公園づくり ～行政と地域住民の連携を求めて～		
ご意見の内容			
<p>4年前の市長と語る会にて、市長さんから旧狭間川公園について、市内に公園はたくさんあるので里親制度を利用してボランティア活動をしてほしいことと、この公園は予算が付いたので来年リニューアルするという話があった。また、たまたま公園で見かけた設計業者からは、公園の維持管理はどの自治体も頭を悩ませているという話を伺った。</p> <p>新型コロナで休校が決まるのに合わせるように公園がオープンした。子供たちにとって公園で遊べる、体を動かすことがどれほど心の支えになったか容易に想像できる。</p> <p>以前のような公園にはしたくないので、家内と里親制度に登録し活動することとしたが、活動とともに問題点も見えてきた。</p> <p>【問題点】</p> <p>1. 行政は現場を見ているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物がはがれてもそのまま ・ 雨で土が流され遊具のコンクリートがむき出しに ・ 備蓄庫のつかない電灯 ・ 冬に使えなくなる遊具 など <p>2. 里親と行政の温度差</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時計の設置を依頼した時の対応 ・ フェンス内の多目的広場の整備について ・ トイレ掃除について ・ 除草後の草を東側の狭間川土手に捨てることについて など <p>【今後を考える】</p> <p>3. 解決の糸口はあるか</p> <p>この里親制度が始まったときは、おそらく行政と地域住民とがお互いに知恵や力を出し合って活動していたであろう。現状は、里親任せの制度になってはいないか。意思疎通がない状態での活動はお互いの不信感を生む。</p> <p>4. 将来を考えるヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4年前に、「勝手に草を刈ると市がやらなくなるからやっちゃだめだ。」といった人から、昨年草刈り機の刃を3枚もらった。 ・ 活動を始めた時から比べると3人の仲間が増えた。仲間が増えることは大きな心の支えにもなる。 			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>本市には都市公園として31の公園が整備されている。現在、22団体の皆さんに公園里親制度の活用により、公園内の清掃及び除草、花・樹木の管理、公園内の不備・危険箇所の情報提供等を行っていただいている。多くの皆さんに市内公園の美化活動にご協力いただき、感謝している。</p> <p>公園管理については、行政として定期的な遊具点検、公園の草刈り等を実施している。地域や利用者のニーズは多様であり、常にニーズの変化を把握し、公園の管理・運営に対応しなければならないと考えている。</p> <p>現状では行政で管理できる範囲は限度があり、公園里親制度を活用いただいている皆さんの協力と連携が非常に重要であると考えている。魅力ある公園の管理運営に向けて、ご指摘の点について真摯に受け止め、改善を図っていく。</p>			

地区名	明世地区	番号	6
タイトル	人口減少対策について		
ご意見の内容			
<p>人口減で対応できないことに問題がある。人口対策にまず目を向けなければ縮小するばかりである。これらの事業を実行するとなると、まず3市の合併が先になるのではないか。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>以前は3市1町（瑞浪市・土岐市・多治見市・笠原町）で新しいまちを作る動きもあった。市民の皆さんの意向調査を行った結果、瑞浪市の反対が一番多くあった。我々行政が主導で進めるのではなく、市民の皆さんの声を聞く必要がある。まずは広域連携をしながらそれぞれ協働していく中で、将来は合併といった流れになるかもしれない。</p>			